

スマートシティの実現に向けた技術提案書

様式1

提出年月日： 2020 年 2 月 19 日

提案団体名： 経営パワー株式会社 (複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください	
技術の概要・実績等	技術の分野
当社は、タウンマネジメントや、スマートタウンのビジネスモデルの事業企画スキルと実績があります。 私は、5年前の2014年まで、松下電器／パナソニック本社で、藤沢サステイナブルスマートタウンの事業企画と省庁の渉外責任者をしていました。 松下電器／パナソニック時代の33年間で、合計60件の新規事業立案と実績を積みました。 これら実績でお役立ちしようと、2015年から、東京丸の内皇居前で、事業化支援コンサルタント会社を創業しました。 現在は、大手コンサルタント会社に、スマートタウン設立時のビジネスモデルと、設立後のタウンマネジメント会社のビジネスモデル構築のレクチャーや実提案の支援を行っています。	7
(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください	
解決する課題のイメージ	課題の分類
スマートシティの最大の課題は、ビジネスモデルを構築することです。 私は、日本では数少ないスマートシティの成功モデルとなっている、藤沢サステイナブルスマートタウンの事業企画立案と推進を中心メンバーとして6年間推進しました。 サステイナブルにスマートシティ／スーパーシティを発展させるビジネスモデルの構築、スマートタウン構築後のビジネスが成り立つマネジメント方法を、実践ノウハウからご支援できます。 また、パナソニック本社在職中は、国交省さま、経産省さま、総務省さま、環境省さまに藤沢サステイナブルスマートタウンのご説明に何度もお伺いしております。	シ
(3) その他	

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
経営パワー株式会社 社長	岩井 利仁	080-1062-9375	i@keieipower.com